

平成 30 年度南島史学会役員会・第 47 回総会議事録

日時：平成 30 年 6 月 28 日（木）・29 日（金）

場 所：台湾・玄奘大学

記録者：森谷裕美子

■ 役員会 6 月 28 日（木）17：30～18：00

出席者：土肥祐子、松浦章、中谷伸生、森谷裕美子

委任状提出：卞鳳奎、塩月亮子、宮崎聖子、高桑史子、春名徹

欠席：金城善、真栄平房昭、横山學

審議事項

1) 平成 29 年度会計報告および平成 30 年度予算案について

森谷会計担当から平成 29 年度の会計報告と平成 30 年度予算案について提案があったが、平成 30 年度予算については、来年度の大会開催予定校より、外部有識者による特別講演を開催したいため当初の予算案に加えてそれにかかる費用（50,000 円）を特別予算として計上して欲しい旨の依頼があり、審議のうえ了承された。

2) 役員を選出規定の改正について

森谷事務局より、今年度で現役員の任期が終わるため選挙が行われるが、現行の会則では役員会の運営が困難となることが予想されるため、下記の通り、会則第 9 条の文言の一部を改正することが提案され、審議のうえ了承された（下線部分）。

「第九条 役員を選出ならびに任期は次の各項による。

旧 (1) 会長および副会長は評議員会の議を経て、総会に推薦する。その任期は二年とし、重任を認めない。会長・副会長が理事以外から選ばれた場合、定数外の理事となる。また会長・副会長が評議員以外から選ばれた場合は、定数外の評議員となる。

新 (1) 会長および副会長は評議員会の議を経て、総会に推薦する。その任期は二年とし、連続再選を認めない。会長・副会長が理事以外から選ばれた場合、定数外の理事となる。また会長・副会長が評議員以外から選ばれた場合は、定数外の評議員となる。

3) 平成 31 年度大会開催地について

森谷事務局より、第 48 回大会を東洋文庫で開催することが提案され、了承された。

4) 『南島史学』の発行について

『南島史学』第 86 号は「第 47 回大会特集」と一般投稿論文の二部構成とし、原稿の締め切り等については例年通りとすることが提案され、了承された。なお編集委員は昨年度通り、松浦先生と宮崎先生が担当することとなった。

5) その他：「南島史学会創立 50 周年記念学術書」の発行について

本書のテーマは「東アジアにおける南島研究」とする。執筆については、学会員に投稿を呼びかけ、編集委員長および副委員長のもと査読のうえ掲載論文を決定することが提案され、了承された。本書の編集委員長は松浦先生、副委員長は中谷先生にお願いし、具体的な原稿の募集時期等については今年度中に検討、2 年後の完成を目指す。

なお完成した書籍については、年会費を完納している学会委員にのみ無料で頒布することが確認された。

報告

1) 入退会員について

森谷事務局より、以下の報告がなされた。

退会：上勢頭芳徳（ご逝去）、植松明石（ご逝去）、宮良当章（ご逝去）、山下文武（ご逝去）、木土博成、島尻克美、原英子、豊見山和行、前田勇樹 以上 9 名

入会：イゴル コロチンスキ、石黒ひさ子 以上 2 名

転居先不明：田島忠篤

*平成 30 年度（6 月現在）

入会：王俊昌、欒匡琳

■ 第 47 回総会 6 月 29 日（金）12：00～12：30

出席者 13 名

議題、報告は役員会と同じ

役員会で審議・了承された通り提案、審議、了承、報告がなされた。

以上